

教 科	国 語	科 目	現代文
履修学年	2 年	履修規定・週時間	必修・4
教 科 書	高校生の現代文 (明治書院)	副 教 材	級別漢字(とうほう)

### 1. 教科・科目の目標

国語はすべての教科の基盤であることの自負を持ち、指導法をあらゆる観点から工夫し、小学校、中学校期に不十分であった習得内容にも必要あらばいつでも立ち戻って徹底して補強、高等学校の学習内容の定着を目指し、3年の9月までに志望校の大学入試に通用する学力を養成する。

2年次にあっては基本的な生活習慣の基盤の上に学習姿勢を安定させることに変わりはなく、自学自習習慣の定着を目指し、実力養成の時期を迎えて難解な文章の読解にも挑戦していく。語彙力、言語感覚、読解力、解答力、場面・状況を把握したコミュニケーション力を磨くことに努める。

### 2. 学習内容

- ・ 2年次を迎えて本格的な「評論」、味わい深い「随筆」、人情の機微に触れ、行間を読む「小説」や想像力の求められる「詩」などにも取り組んでいく。
- ・ 語彙力を並行して強化しながら、ある程度の長さのある、難解な文章にも慣れていく。
- ・ 入試問題を時間内に60～70%得点できるくらいの読解力・解答力を身につけるため、実践的なノウハウを身につける。

### 3. 学習方法

#### 授業

精選した課題文に取り組む。本文のまとめや構成図の板書を写す際、重要なキー・ワードについて気づかせる。入試会場で課題文に向かったときにその世界に入り込み、問題作成者、あるいは自分自身と無言の対話や駆け引きをしながら時間内に正解を導き出すために必要となる、集中力や根気、思考力、判断力といった解答力を養成する。すべての学習は本番で「自力で解けるように」。

#### 家庭学習

自学自習の習慣が定着するように、平日頃から、特に週末、長期休暇には必ず課題を出す。

#### その他

小論文入試やAO推薦入試で求められる要約力、表現力、アピール力についても、その基盤を作っておく。

### 4. 宿題

- ・ 授業で取り扱った教材のまとめプリント
- ・ 漢字テストの事前学習
- ・ 漢字テストの事後学習

### 5. その他

- ・ 分かりやすい丁寧な解説だけでなく、自力で解けるように「ガイド」を与えながら読解力を養成する。
- ・ やや難しい目の文章に慣れさせておくことも大切。
- ・ 漢字練習ノートでは用例、使い方に重点を置き、写し間違いや覚え間違いに対しては、徹底指導を続ける。